

## 事業報告書

1 支援団体名	中島壮年部	
2 事業名称	厳木ダム周辺「水辺の交流とオアシスの郷づくり」事業	
4 実施日時	令和2年4月～令和3年3月	
5 実施場所	唐津市厳木町中島墨田地内及び広瀬地域	
6 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>本年度は、事業計画をしていましたイベント及び視察研修等につきましては、新型コロナウイルス蔓延防止対策及び組織の危機管理上中止を余儀なくなりました。</p> <p>従って、周年を通じて、厳木ダム湖周辺及びダム管理道の除草、ホタル再生環境整備事業等を実施。8月生物多様性保全事業（外来種の川藻等の除去及）の実施。</p> <p>12月は、河川敷葦等の伐採、更に、オアシスの里山整備活動として、広葉樹等の樹木名板設置並びに子供クラブを中心とした緑の学習会を実施。1月は、蛍再生事業の一環としての河川敷の葦、雑木等の焼却活動を実施。又、同月に佐賀県内河川活動団体事業発表会に出席。3月に里山（オアシスの森）整備を目的に、広葉樹の植栽活動を実施いたしました。</p>	
	<p>(事業実施効果)</p> <p>ダム周辺及び河川管理道環境整備を始め、緑化・景観づくり活動等を通じて、ダムや水資源は流域住民の共有財産であるとの意識が向上しています。更に、生物多様性保全事業の一環としての外来種除去やホタル再生等水資源環境の整備・保全活動等により、水資源の重要性及び公益的機能の理解をはじめ、恩恵と愛護思想が培われています。特に、子供たちの情操教育のためのイベントが開催できなかったことから、本年は、里山、里川の働きや重要性を学ぶために、緑の学習会を実施し、水源資源の有用性と環境保全の必要性と理解を深めると同時に、オアシスの郷づくり事業の意義が浸透し、個性と魅力ある地域づくりとして地域活性化の起爆剤になっています。</p>	
7 参加内訳	総人数	221名
	(1) 主催者参加	156名
	(2) 日本人参加（(1)を除く）	65名
	(3) 外国人参加（(1)を除く）	0名
8 今後の方針	<p>里山と里川の有機的な活用を図る水辺の交流とオアシスの郷づくりの更なる進展を図り、流域及び町内外の人々のプラットフォームとしての役割を加速させ、ダムや水資源の重要性と保全意識の醸成と向上を図ります。更に、第2次里川づくり事業の基本構想策定の取り組みを推進し、個性ある里川・里山をフィールドに各イベントの充実を図り、世代間交流や子育て支援、体験・交流等による情操教育の深化を図ります。これらの活動を通じて、個性と魅力ある交流拠点としての認知度を高め、交流人口や関係人口の増大と中島地域ブランド化の構築を目指します。</p>	

5/16 ダム管理道・蛍ロード除草作業状況



8/2 外来種（オオカナダ藻）除去活動状況



12/20 里山樹木名板作成状況



12/20 緑の学習会開催状況



12/12 河川敷葦、雑木竹伐採作業状況



1/31 河川敷葦等焼却作業

